



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)SGリアルティ株式会社 金沢区福浦新築計画	階数	地上2F
建設地	横浜市金沢区福浦二丁目16番6、16番7、16番22	構造	S造
用途地域	工業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	55人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,960時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年12月 予定	評価の実施日	2024年12月10日
敷地面積	9,900.99 m ²	作成者	横井 貴
建築面積	2,371.55 m ²	確認日	2024年12月12日
延床面積	2,772.88 m ²	確認者	横井 貴

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	横浜市立緑地公園から徒歩圏内の工業地域に、2階建て鉄骨造の自動車修理工場を計画した。	その他 特になし。
Q1 室内環境	建物内を禁煙とすることで、空気質環境の健全化を図った。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー	高効率設備機器を採用することで、設備システムの高効率化に努めた。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を抑えることで、地球温暖化防止への配慮を行った。
Q2 サービス性能	空間のゆとりを持たせることにより、将来への対応性・更新性を高めた。	
LR2 資源・マテリアル	特になし。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい

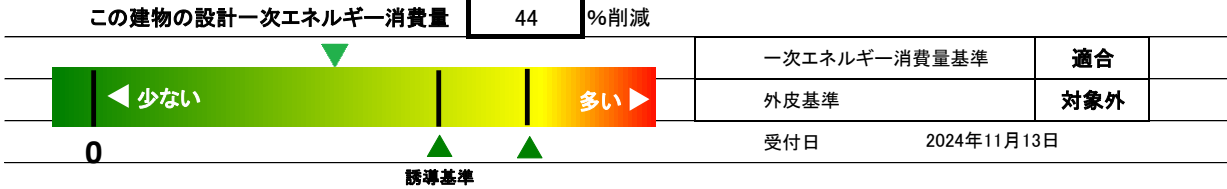


4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。 建物名称 (仮称)SGリアルティ株式会社 金沢区福浦新築計画

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **3**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

③BEIm=0.56

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 **3**

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑪建物内禁煙

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入	



CASBEE横浜2022年版v.1.2

(仮称)SGリアルティ株式会社 金沢区福浦新築計画

バージョン

CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート	実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	配慮項目	<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質									2.5
Q1 室内環境									2.9
1 音環境				3.0	0.15	-	-		3.0
1.1 騒音				3.0	0.40	-	-		-
1.2 遮音				3.0	0.40	-	-		-
1.2.1 開口部遮音性能				3.0	0.60	-	-		-
1.2.2 界壁遮音性能				3.0	0.40	-	-		-
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-		-
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-		-
1.3 吸音				3.0	0.20	-	-		-
2 温熱環境				2.8	0.35	-	-		2.8
2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-		-
2.1.1 室温	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-		-
2.1.2 外皮性能	快適・働きやすさ	健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.25	-	-		-
2.1.3 ソーン別制御性	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-		-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	2.0	0.20	-	-		-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.30	-	-		-
3 光・視環境				2.6	0.25	-	-		2.6
3.1 屋光利用				1.8	0.30	-	-		-
3.1.1 屋光率	快適・働きやすさ		⑩光環境	1.0	0.60	-	-		-
3.1.2 方位別開口	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	-	-		-
3.1.3 屋光利用設備	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.40	-	-		-
3.2 グレア対策				3.0	0.30	-	-		-
3.2.1 屋光制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	1.00	-	-		-
3.3 照度	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.15	-	-		-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.25	-	-		-
4 空気質環境				3.4	0.25	-	-		3.4
4.1 発生源対策				3.0	0.50	-	-		-
4.1.1 化学汚染物質	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	1.00	-	-		-
4.2 換気				3.0	0.30	-	-		-
4.2.1 換気量	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.33	-	-		-
4.2.2 自然換気性能	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.33	-	-		-
4.2.3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.33	-	-		-
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-		-
4.3.1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	-	-	-	-		-
4.3.2 喫煙の制御	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	5.0	1.00	-	-		-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		3.0
1 機能性				3.0	0.40	-	-		3.0
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-		-
1.1.1 広さ・収納性	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.33	-	-		-
1.1.2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.33	-	-		-
1.1.3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.33	-	-		-
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	-	-		-
1.2.1 広さ感・景観	快適・働きやすさ		⑫機能性	4.0	0.33	-	-		-
1.2.2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ		⑫機能性	4.0	0.33	-	-		-
1.2.3 内装計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	1.0	0.33	-	-		-
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-		-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-		-
1.3.2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-		-
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30	-	-		2.9
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-		-
2.1.1 耐震性	防災		⑮耐震・免震	3.0	0.80	-	-		-
2.1.2 免震・制振性能	防災		⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-		-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30	-	-		-
2.2.1 躯体材料の耐用年数	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-		-
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-		-
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-		-
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-		-
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-		-
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-		-
2.4 信頼性				2.8	0.20	-	-		-
2.4.1 空調・換気設備	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-		-
2.4.2 給排水・衛生設備	防災		⑰信頼性	2.0	0.20	-	-		-
2.4.3 電気設備	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-		-
2.4.4 機械・配管支持方法	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-		-
2.4.5 通信・情報設備	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-		-
3 対応性・更新性				3.3	0.30	-	-		3.3
3.1 空間のゆとり				4.0	0.30	-	-		-
3.1.1 階高のゆとり				4.0	0.60	-	-		-
3.1.2 空間の形状・自由さ				4.0	0.40	-	-		-
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	-	-		-
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-		-
3.3.1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-		-
3.3.2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-		-
3.3.3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-		-
3.3.4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-		-
3.3.5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-		-



CASBEE横浜2022年版v.1.2

(仮称)SGリアルティ株式会社 金沢区福浦新築計画

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			-
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.40	-	-			1.8
1	生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	1.0	0.30	-	-			1.0
2	まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	2.0	0.40	-	-			2.0
3	地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-			2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	2.0	0.50	-	-			-
3.2	敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	3.0	0.50	-	-			-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-			3.5
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-			4.1
1	建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	-	-	-	-			-
2	自然エネルギー利用		省エネルギー性能	3.0	0.13	-	-			3.0
3	設備システムの高効率化		省エネルギー性能	5.0	0.63	-	-			5.0
4	効率的運用			2.5	0.25	-	-			2.5
	集合住宅以外の評価			2.5	1.00	-	-			-
4.1	モニタリング		省エネルギー性能	3.0	0.50	-	-			-
4.2	運用管理体制		省エネルギー性能	2.0	0.50	-	-			-
	集合住宅の評価			-	-	-	-			-
4.1	モニタリング		省エネルギー性能	-	-	-	-			-
4.2	運用管理体制		省エネルギー性能	-	-	-	-			-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-			3.0
1	水資源保護			3.0	0.20	-	-			3.0
1.1	節水			3.0	0.40	-	-			-
1.2	雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-			-
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-			-
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-			-
2	非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60	-	-			3.0
2.1	材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-			-
2.2	既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-			-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-			-
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-			-
2.5	持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-			-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み			4.0	0.20	-	-			-
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-			3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-			-
3.2	フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-			-
	1	消火剤		-	-	-	-			-
	2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-			-
	3	冷媒		3.0	0.50	-	-			-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-			3.4
1	地球温暖化への配慮			3.8	0.33	-	-			3.8
2	地域環境への配慮			3.5	0.33	-	-			3.5
2.1	大気汚染防止			5.0	0.25	-	-			-
2.2	温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-			-
2.3	地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-			-
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-			-
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-			-
	3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-			-
	4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-			-
3	周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-			3.0
3.1	騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-			-
	1	騒音		3.0	0.50	-	-			-
	2	振動		3.0	0.50	-	-			-
	3	悪臭		-	-	-	-			-
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-			-
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-			-
	2	砂塵の抑制		-	-	-	-			-
	3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-			-
3.3	光害の抑制			3.0	0.20	-	-			-
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-			-
	2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-			-
上記以外の重点項目				-	-	-	-			-
<事務用途>				-	-	-	-			-
	知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	3.0	-	-	-			-
<住宅用途>				-	-	-	-			-
健康と安心				-	-	-	-			-
1	化学汚染物質の対策		健康・安心	-	-	-	-			-
2	適切な換気計画		健康・安心	-	-	-	-			-
3	結露・カビ対策		健康・安心	-	-	-	-			-
4	犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	-	-	-	-			-